

コナミ・デジQトレイン 長編成化に挑戦!

text: RIMM/photo: 羽田 洋 (特記以外)

取材協力: コナミ株式会社

© 2003 KONAMI

デジQトレイン
通信 No.3

デジQトレインは良く出ている。洗いプロトタイプが揃っているのもいい。でも4編成揃ってというのがトライクな感じ...と思っ
ているとしたら、それは大きな誤解だ。デジQトレ
インの車両は4編成を基本として発売されている
が、これはあくまでも基本と考えればOK。かつて
ノベルティとして増設用車両のセットが作られた
こともあるくらいで、4編成揃にこだわる必要はま
ったくない。

長編成のデジQトレイン車両セットの発売も予定
されているらしいが、ここでは現行の製品を使っ
た長編成にチャレンジしてみた。長い編成が身
をくねらせて走るのはやっぱり楽しい! コンパ
クなデジQトレインだからこそできる楽しみを、
深く掘り下げてみることにしよう。

デジQトレインの動力車1輛に、最大で5輛のト
レラーを連結して走らせることができる。複数
の動力車に同じIDを割り当てれば、1つのコント
ローラの操作で同調運転も可能だ。したがってデ
ジQトレインはどんな長編成化にも対応できるシ
ステムを持っていることになる。

現在発売されている車輛は先頭車の前部のカプ
ラーがダミーだから、たとえ前面貫通型の電車で
なくてもそのままどんな編成を長くする...とい
うわけにはいかないが、もちろん方法はある。先頭
車にカプラーを追加するのも簡単な改造できそ
うだが、今回は製品のままで長編成化するノウ
ハウを探ってみよう。

まず最初に浮かぶのは機関車牽引の客車列



▲EF58+24系25形セットに客車を増結してみた。14系15形を使用していた「あかつき」を彷彿とさせる。



▲S83系の中間車を2セット分使用した6編成。特急列車の風格が出てきている感じが。



▲こちらは485系ボンネットの6編成。とえあききはモノクラス編成で楽しもう。

デジQトレインの最新情報はHPで。 <http://www.micro-ir.com/train/> 商品に関するお問い合わせは... コナミホットライン TEL 0570-086-573



写真の車輛は旧国鉄時代の車輛をモデルに製品化したものだ。

▲往年の名車485と583が身をくねらせて融合する。長編成化でデジQトレインの走りももっと楽しくなる。

車にトレラーを増結する方法。現在発売されて
いる車輛セットの中から「EF58+24系25形客車」
と「EF65+24系25形」の2つを使って長編成化を
試みた。

2つのセットを合わせると客車は6輛あるが、動
力車1輛につきトレラー5輛の原則に従ってオハ
ネ×3+オハネフ×2の5輛を使用した。これくら
いの長さになると電源車が欲しくなるが、ナニ、14
系15形ということにすれば違和感はない。かつて
の(あかつき)を思い起こさせる編成なので、牽
引機はEF58が似合うかもしれない。佐世保行き分
割編成とすればさらにリアルだが、そうなると
D51が早く欲しくなる。

次は電車の長編成化に挑戦だ。前述のカプラー

の制約があるが、中間車のみを2セット分使っ
て6編成にすることは可能だ。

国鉄時代の名車「485系ボンネットタイプ」と
「S83系」の2種を使い、それぞれを6編成化して
みると...うーん、なかなか! 特急列車の風格
が出てきてよらしい。走らせてみると違いは歴然
で、特に融合シーンの迫力はケタ違い。前述の通
り1MSTでも問題なく走るのだが、ここでは2M4T
なので一層めめらかな走りっぷりが楽しめる。

両方ともモノクラス編成になってしまいが、ま
ずは長編成の迫力を存分に味わおうではないか。
あまり細部にこだわり過ぎるのは考えもの。他の
製品でも是非、長編成化にチャレンジしてみたい
だきたい。



▲同一車種の2セットを使って、中間車を追加するのが長編成化の基本ノウハウ。2輛の動力車に1つのIDを割り当て、1台のコントローラで統括制御する。走りも一層めめらかなる。



▲ホームに停車中の国鉄系モノクラス。やはり長編成化すると賞格も違う。

デジQトレインはおもちゃみらい博&第4回
国際鉄道模型コンベンションに出展します!